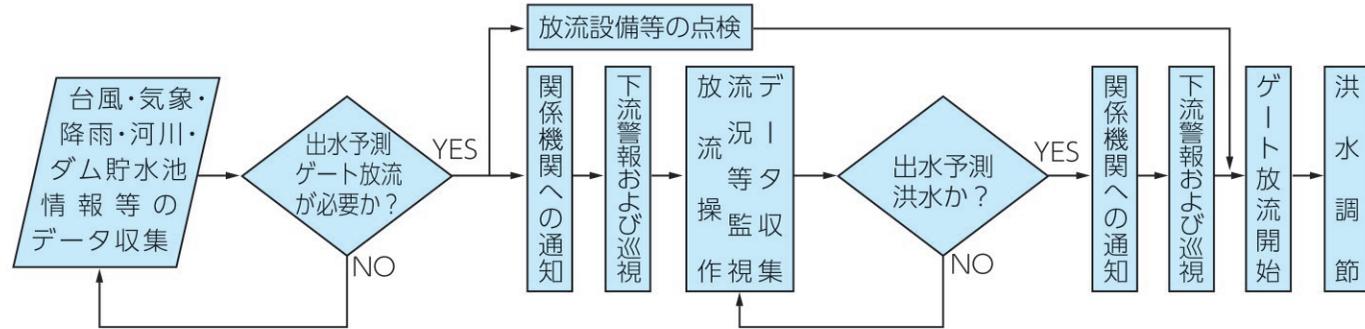


ダムの管理

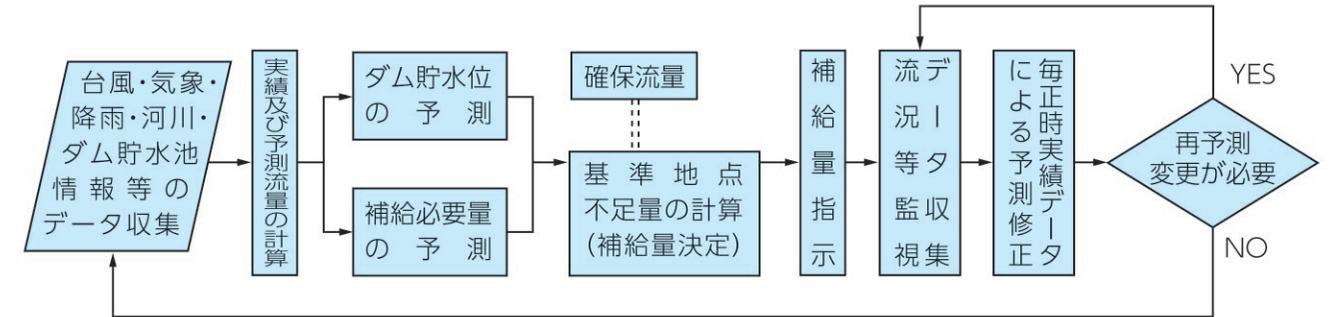
洪水調節

ダムからの放流により下流河川の水位が上昇する恐れのある場合には、関係機関に通知を行い、河川周辺の人々へは警報および巡視を行い警告を行います。洪水時には、ダムに貯留することにより、流入量より少ない量をダムから流し、洪水による下流の被害を軽減します。

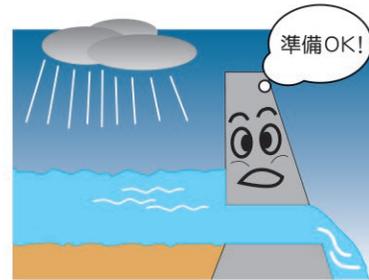
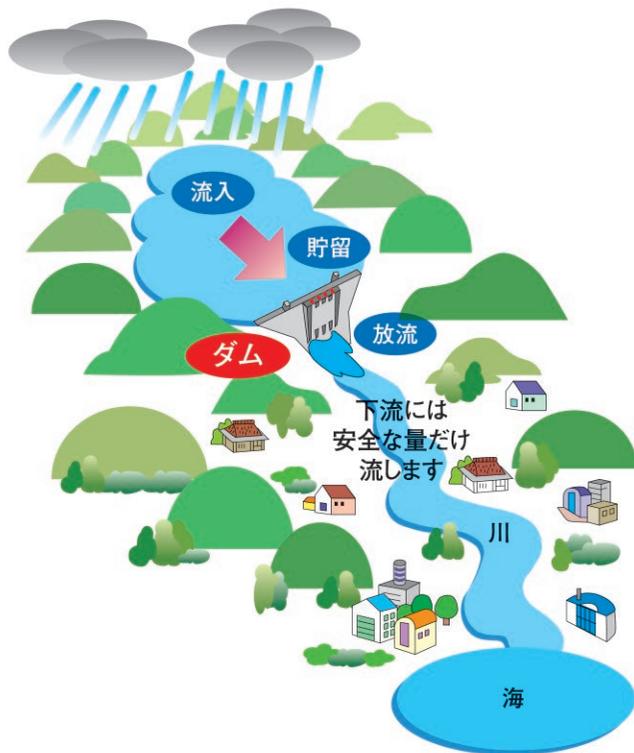


用水補給

池田ダムは、吉野川における利水の基準地点であり、徳島用水・香川用水および吉野川維持用水を確保するため、河川流量の不足量を計算し、早明浦ダムから用水供給を行っています。池田総合管理所では、用水供給の調整および降雨によるゲート放流等に対応するため24時間体制で管理を行っています。

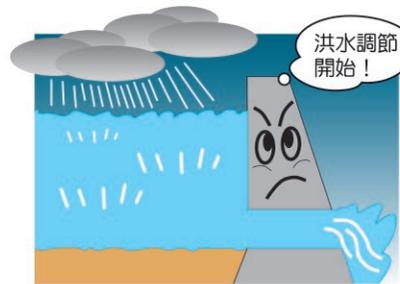


洪水調節のしくみ



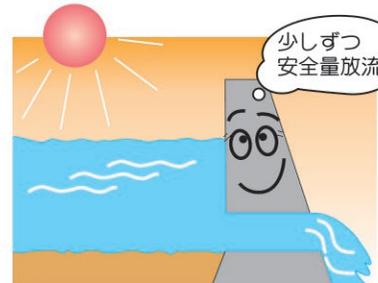
1

大雨が降り、ダムに流れ込む水の量が増え、貯水量が一定の水位（平常時最高貯水位または洪水貯留準備水位）を越すと予想される時、ダムの放流を洪水用ゲートに切り換え、洪水調節に備えます。



2

ダムに流れ込む水の量がさらに増え、定められた量以上になった時、洪水調節を開始します。つまり流れ込む水をダムで一時的に貯め、下流へ一度にたくさんの水を流さないことで、洪水被害を防ぐのです。下流へは、安全な量だけを流します。

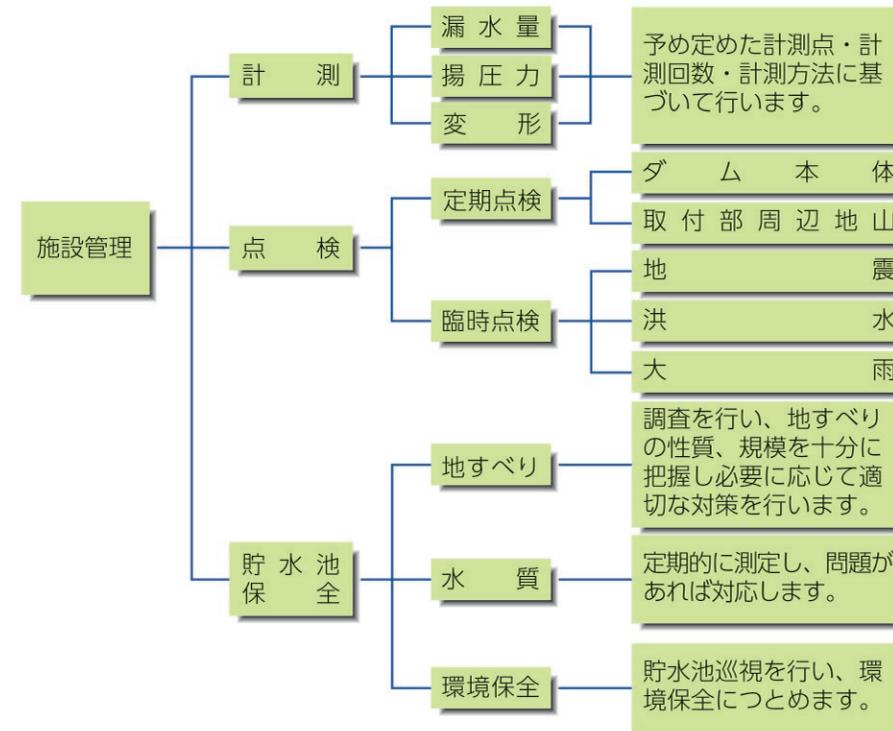


3

ダムに流れ込む水の量が最高に達した後も、ダムからの放流は続けます。この場合も、安全な量だけを少しずつ流します。

施設管理

ダムの施設が正常に作動し、貯水池の水質等を保全するために計測・点検・調査および対策を行います。



富郷ダム操作室